



神
刀
流



劍豪日比野雷風を憶う 松口月城

ふうぼう 風貌
かいい 魁偉
なお 猶
まなこ 眼に
そん 在す

そうけん 想見す
らいふう 雷風
しどう 斯道
いさお 勲し

いきよう 遺教
せんねん 千年
とし 長なえに
めつ 滅せず

しんどう 神刀
きらめ 閃く處
ようふん 妖氛を
き 斬る

ご挨拶



神刀流 宗家 日比野 正晴

本日、ここに全国神刀流大会が初めて茨城にて開催されます事、大きな喜びであり感謝申し上げます。

本大会に於きまして、大会実行委員長としての越智先生の御尽力に対し深く敬意を表する次第であります。

また、本大会開催に際し、各流派の先生方の御臨席を賜ります事、誠に有難うございます。今回も神刀流一門の方には全国各地からご参集をいただき有り難うございます。日頃の稽古の成果を十分に発揮して頂ければと思います。

最後に、本大会の開催につきまして、大会関係の役員の方々、担当の皆様のご協力に対し心から感謝を申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶



神刀流神刀館茨城本部 本部長 越智 勝流

昭和四十四年、十九歳の時、日本電気(株)府中事業場で剣武に出会い、阿佐ヶ谷の神刀館へ通い練習に励んだ日々。府中、そして刀水(利根川)のほとり茨城県取手市でと四十七年もの間、剣武を続けられたことに深く感謝し、ご指導をいただいた諸先生先輩方や、共に練習に励み導いていただいた方々に御礼申し上げます。

開祖日比野雷風没後九十年を迎えるこの年、全国神刀流茨城大会を開催できることに、大きな因縁と強い絆を感じております。

開祖雷風は、晩年深く仏道に帰依し、雷風寺を建立するに至りました。

神刀流のステータスである「天下無敵」「心剣練磨」は、仏教の「縁起」「只管打坐」に通じております。

向かうところ敵無く、ただただ縁に寄り添い和合する心、そして、日々一所懸命に精進する生き方を示唆しています。

永々と続く釈尊からの仏教の流れを、開祖からの神刀流剣武道の流れに重ね、神刀流の源流を深く研鑽し、これからも精進努力し伝えて行く所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



神刀流の解説

我国、現代剣舞の祖と言われる神刀流開祖日比野雷風について述べます。

神刀流剣詩舞道・居合道・居合抜刀術は、開祖日比野雷風が明治二十三年に創始したものです。その頃は明治維新の後で、西洋の文化を直輸入していた時代であり、武道などは顧みる者もいなかった時代でした。開祖雷風はこれを非常に残念に思い、一人剣を持って立ち、ついに一派を開いて神刀流となづけて、撃剣(当時剣道のことを剣術・撃剣と呼んでいた)居合道・居合抜刀術を指導していました。しかし、この激動する時代に、幽遠なる剣道の奥義を体得する事は学ぶ人にとって容易なことではなく、時代に適応した奥義を極める近道はないかと苦心を重ねている中、明治二十二年十二月の帝国大学における剣道の試合を観覧していた、皇太子お付武官の杉山直弥大佐が、隣席の開祖雷風に、「むかし、中国においては剣舞は剣法の奥義としてあった。すなわち詩を吟じ、士気を鼓舞し、剣を振って決死の勇を起こして敵中に

切り込む。この剣舞から始めて剣法が生まれたということであるが、わが国でも国民の士気高揚のため、武士道精神の普及に力を貸してほしい。」と語った。開祖雷風も深く感ずるところがありこれを研究しようと思を決し、漢学者で文学博士の重野安澤先生を訪ね、この話をして意見を述べたところ、博士も非常に喜び、大いに我国の国粹たる武士道を教え普及させるため犠牲的な覚悟を持って完成に努めるべきだと勧められた。これに力を得て、日本古来の剣術、居合術、柔術の三法に芸術的色彩として舞の要素を取り入れ完成したのが神刀流剣武術です。

従って、神刀流では一挙手一投足がごとく武道に沿っていることから、剣舞とはいわず剣武とよんでいます。

現在の神刀流は剣武道、詩舞道、居合道、居合抜刀術、吟詠道からなり、伝統を継ぎ日々研鑽しております。

詳しくは、神刀流ホームページをご覧ください。

<http://www.shintoryu.jp>

神刀流

検索



全国神刀流茨城大会

日時 平成二十八年六月十二日(日) 午前九時三十分開場 十時開演
会場 守谷中央公民館 大ホール

主催 神刀流総本部

神刀流神刀館茨城本部

協賛 岳精流日本吟院取手教場

尺八伴奏 奥本 林山 先生

一、開会式

開会のことば

大会実行副委員長

小池 剣風

国歌斉唱

黙祷

大会会長

重信 正利

二、祝祷

祝祷

大会実行委員長

越智 勝流

四方浄め

天地・前・足払い

三、神刀流 剣武コンクール

【演武要領】

- 一 「日本刀を詠ず（蒼竜）」をもって実施する
- 二 稽古着・鉢巻・刀・素足とする
- 三 名前を呼ばれたら大きな声で返事をし、下手より進み出て国旗に一礼、中央に進む
- 四 吟は、神刀流指定のCDを使用する
- 五 吟題・作者が読み上げられたら正面に一礼し、吟に合わせて演武を行う
- 六 演武終了後は、正面に一礼し、上手へ向かい、途中国旗に一礼して退場

幼年の部

- ① 佐野 一羽
- ② 渡辺 翔太
- ③ 西村 優斗
- ④ 土屋 翼
- ⑤ 工藤 晴矢
- ⑥ 伊藤 咲耶
- ⑦ 成家 大空
- ⑧ 佐野 愛羽

少年の部

- ⑨ 井上 登偉
- ⑩ 小林 美涼
- ⑪ 伊藤 大華
- ⑫ 土屋 勇斗
- ⑬ 小林 弘熙
- ⑭ 佐野 心羽

青年の部

- ⑮ 窪田 任活
- ⑯ 赤沼 里奈
- ⑰ 石川 未知生

一般一部

- ⑱ 澤 恵
- ⑲ 真田 裕司
- ⑳ 伊藤 紀彦
- ㉑ 宝 嵐
- ㉒ 越智 康博
- ㉓ 正木 弘美

一般二部

- ㉔ 佐久間崇之
- ㉕ 北村千代子
- ㉖ 山中 吉男
- ㉗ 森谷 昭英
- ㉘ 堀内 周子
- ㉙ 関下 紀江
- ㉚ セザル・オルチス・ロハス
- ㉛ 工藤 幸男
- ㉜ 日向 輝彦

一般三部

- ㉝ 井上 辰子
- ㉞ 上岡 富子
- ㉟ 工藤 鐵夫

審査委員

- 監修 日比野 正晴
審査委員長 重信 正利
審査副委員長 工藤 正桂
小池 剣風
森 剣信
横井 剣司
石橋 剣康
望月 剣勇
佐藤 剣生
越智 勝流

四、模範演武

4	3	2	1
剣武	剣武	剣武	剣武
一般三部	一般一部	青年の部	幼年の部
神刀館茨城本部	神刀館神奈川本部	神刀館茨城本部	神刀館青森本部
中川 敬子	森 敏郎	長谷川陳鷹	附田 理来

五、会員演武(一)

コ：コンダクター

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
詩舞	剣武	剣武	剣武	剣武	剣武	居合 抜刀	居合 抜刀	剣武	剣武	剣武
清 明	偶成(建業)	本能寺	和歌かえらじと 金剛山	金州城下の作	不識庵機山を撃つの図に題す	神刀流居合 試斬り	神刀流居合 試斬り	九月十三夜陣中の作上杉兼信	偶成(水陸)	日本刀を詠ず
杜 牧	西郷南洲	頼 山陽	山岡鉄舟	乃木希典	頼 山陽				大鳥圭介	水戸光圀
神刀流名古屋本部 (吟)神刀館名古屋本部長	神刀流神奈川本部 (吟)神刀館神奈川本部長	神刀館茨城本部 (吟)岳精流日本吟院取手教場	神刀流北海道本部 (吟)神刀流北海道本部	神刀館名古屋本部 (吟)神刀館名古屋本部長	神刀館神奈川本部 (吟)神刀館神奈川本部長	神刀流神山館	神刀流神風館	神刀流北海道本部	神刀館青森本部 (吟)神刀館青森本部長	神刀館茨城本部 (吟)神刀館茨城本部長
横井 剣司	日向 輝彦 森 剣信	佐久間崇之 上岡 富子 内村 正明 本間 林風	工藤 幸男 對馬 岳炯	正木 弘美 横井 剣司	真田 裕司 森 剣信	軽部 慎也	伊藤 紀彦 窪田 任活 石川未知生	工藤 晴矢	附田 理来 西村 優斗 赤沼 里奈 小池 剣風	山中 吉男 越智 勝流
2 本	2 本	2 本 ^コ	C D	2 本	2 本	尺八	尺八	吟 C D		

21	20	19	18	17	16
親子 三代 剣武	居合 抜刀	剣武	剣武	詩舞	剣武
日本刀を詠ず 水戸光圀	神刀流居合 試斬り	金剛山 山岡鉄舟	曾我兄弟 松口月城	和歌晴れてよし 富士山 石川丈山	楠公を詠ず 日柳燕石
神刀館茨城本部 神刀館茨城本部長 (吟)岳精流日本吟院取手教場長	神刀流神山館	神刀流神風館	神刀館茨城本部 (吟)岳精流日本吟院取手教場	神刀流北海道本部 (吟)神刀流北海道本部	神刀流神生館 (吟)神刀流神生館
越智 靖崇 越智 康博 越智 勝流 越智 精麗	新関 勇樹 黒田 了光	井上 正普	堀内 周子 中川 敬子 三好 伸司 落合 和山 新井 遼風	関下 正鳳 井上 正仙 工藤 正穂 澤 恵 瀧澤 岳領	榎 護正 榎 秀正
6本	尺八	吟 C D	2 ^コ 本	3本	2本

【昼食】

六、式典

一、来賓挨拶

岳精流日本吟院副幹事長

園田

精鵬

一、宗家挨拶

神刀流 宗家

日比野

正晴

一、理事長挨拶

神刀流総本部理事長

重信

正利

一、主催者挨拶

大会実行委員長

越智

勝流

一、許証授与

一、コンクール発表・表彰

審査委員長

重信

正利

発表

審査副委員長

工藤

正桂

七、企画構成吟

「常陸国めぐり」

岳精流日本吟院取手教場

構成……………越智 精麗
スライド……………新井 遼風
ナレータ……………越智 龍仁
池田千代子

コ…コンダクター

27	26	25	24	23	22
弘道館に梅花を賞す 徳川景山	金州城下の作 乃木希典	俳句 行く歳や 小林一茶	潮来の夕べ 角光嘯堂	筑波山の絶頂に登る 安積良斎	(歌謡曲入り) 船頭小唄 渡辺岳吟 武田静山
男性合吟	龍 新井 遼風 本間 林風 龍雪	三好 伸司	根本裕美子 泉 伶子 松村 秀子 西條 清泉 黒木 當泉 北島 愛山 白木 貴山 須賀 恵山 亀山 幸風	内村 正明	男性合吟 女性合吟
コ 2本	コ 2本	コ 1本	コ 6本	コ 2本	コ 6本 コ 2本

八、会員演武(二)

34	33	32	31	30	29	28
剣武	剣武	剣武	居合	居合 居合 居合	居合	剣武
児島高德桜樹に書するの図に題す 斉藤監物	坂本龍馬を思う 河野天籟	焦心録後に題す 高杉晋作	神刀流居合 試斬り	神刀流居合 試斬り	神刀流居合	武田武士(風林火山) 武田信玄
神刀館多摩本部 (吟)我孫子カルチャー	神刀流神生館	神刀館名古屋本部 (吟)神刀館名古屋本部長	神刀流神山館	神刀流神風館	神刀流神風館	神刀館茨城本部 (吟)岳精流日本吟院取手教場 我孫子カルチャー
二宮 祥風 田中 武風 西山 定山 湯浅 和美 野村 洋流	中山 愛正	横井 劍司	佐藤 正淳	土屋 正直	土屋 正学	堀内 周子 上岡 富子 中川 敬子 女子 女子
コ 2本	吟CD	2本	尺八	尺八	尺八	コ 6本

48	47
詩舞	剣武
桜花の詩 作者不詳	兵児謡 末松青萍
神刀流神童館 館長 (吟)心洲流吟詠会 神刀流神秀館 館長 (吟)岳精流日本吟院青年部部长 岳精流日本吟院指導本部員 岳精流日本吟院副幹事長	神刀流神童館 館長 (吟)心洲流吟詠会 神刀流神秀館 館長 (吟)岳精流日本吟院青年部部长 岳精流日本吟院指導本部員 岳精流日本吟院副幹事長
園田 精鵬	佐藤 劍生 佐藤 吟陽 若松 龍飛 池田 精嶽
3本	2本

十、会員・役員演武

46
居合 抜刀
居合 試斬り
起倒流
梅沢 敏夫
尺八

九、賛助演武

45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35
剣武	居合	剣武	剣武	剣武	居合 抜刀	剣武	居合 抜刀	居合	剣武	剣武
吉次峠の戦い 佐々友房	全日本剣道連盟居合	合戦川中島 角光嘯堂	曾我兄弟 松口月城	棄児行 雲井竜雄	神刀流居合 試斬り	日本武士道 河野天籟	神刀流居合 試斬り 夢双直伝英信流	神刀流居合	桶狭間を過ぐ 大田錦城	逸題 橋本左内
神刀館茨城本部 神刀館茨城本部長 (吟)岳精流日本吟院青年部部长 岳精流日本吟院指導本部員	神刀館青森本部長 全日本剣道連盟居合道教士七段 神刀館青森本部 附田 理来 西村 優斗 赤沼 里奈 小池 劍風	神刀流神紫館 館長 久保 正紫	神刀流神尚館 館長 渡井 浄美 望月 勇	神武会神武嵩山館館長 小林 嵩光	神刀流神山館 佐藤 正淳	(吟)神刀館青森本部長 ・ロハス 小池 劍風	神刀流正信塾 菊地 悟	神刀流北海道本部 森谷 正皖	神刀流神生館 大竹 正喜	神刀流北海道本部 (吟)神刀流北海道本部 對馬 岳炯 工藤 正壯
3本	尺八	吟C D	吟C D	吟C D	尺八	2本	尺八	尺八	吟C D	2本

49	居合 抜刀	神刀流居合 試斬り	神刀流正信塾 塾長 岩谷 正信	尺八
50	剣武	大楠公 河野天籟	神刀館青森本部 神刀館青森本部長 (吟)心洲流吟詠会 朝翠流師範 岡田 爽鵬 木村 博陽 小池 劍風 附田 理来	C D
51	居合 抜刀	神刀流居合 試斬り	神刀流神山館 館長 遠藤 正仁	尺八
52	詩舞	無心 良 寛	神刀流北海道本部長 (吟)神刀流北海道本部 工藤 正桂 瀧澤 岳領	3本
53	剣武	獄中感有り 西郷南洲	神刀館茨城本部長 (吟)岳精流日本吟院副幹事長 園田 精鵬 越智 勝流	3本
54	剣武	暁に発す 月田蒙斎	神刀流 宗家 (吟)岳精流日本吟院取手教場長 越智 精麗 日比野正晴	6本
55	剣武	神刀流を詠ず 巽 李軒	神刀館埼玉本部長 (吟)神刀館青森本部長 小池 劍風 石橋 劍康	2本
56	剣武	棄児行 雲居竜雄	神刀館名古屋本部長 (吟)岳精流日本吟院取手教場長 越智 精麗 横井 劍司	6本
57	剣武	金州城下の作 乃木希典	神刀館神奈川本部長 (吟)神刀館神奈川本部 森 劍信 森 信流	6本
58	詩舞	富士山 石川丈山	神刀流 劍士 (吟)岳精流日本吟院取手教場 我孫子カルチャー 全員 全員 全員	6本

十一、大合吟

剣豪日比野雷風を憶う

先導 横井 劍司 2本

十二、閉会式

大会実行副委員長 遠藤 正仁

万歳三唱

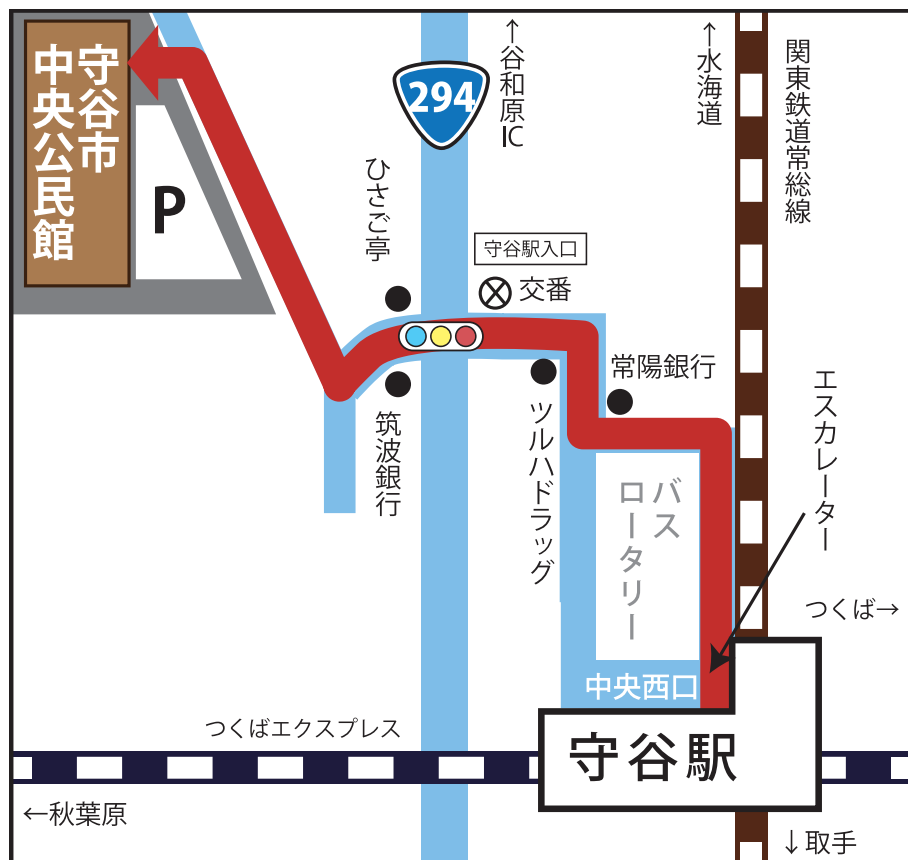
閉会のことば

十三、記念撮影

懇親会(ひさご亭)

司会・進行 越智 精麗・中川 敬子

上岡 富子・堀内 周子



つくばエクスプレス「守谷駅」 中央西口より徒歩8分

- つくばエクスプレス「秋葉原」駅から会場へ
つくばエクスプレス 快速32分 「守谷」駅下車 (普通 40分)
- 常磐線「上野」駅から会場へ
常磐線 快速40分 「取手」駅下車
「取手」駅から 関東鉄道常総線に乗換 20分 「守谷」駅下車
- 車で会場へ
常磐高速「谷和原IC」をおりて 取手方面 約5分

大会役員

宗家	日比野正晴
大会会長	重信 正利
大会実行委員長	越智 勝流
大会実行副委員長	小池 剣風・遠藤 正仁・工藤 正桂
総務・会計	柴村 正憲・佐藤 正淳・小幡 洋子・上野山 富貴子
コンクール	審査員 剣武コンクールの頁に明記
審査員	集票 對馬 正伯・工藤 正穂・米村 瑞嶺・町井 澄山
賞状	集計 本間 林風・新井 遼風
受付	三好 裕美
司会	中川 敬子・堀内 周子 岳精流日本吟院取手教場(女子)
連絡・進行	越智 精麗・池田 千代子
会場・接待(弁当)	新井 遼風・落合 和山・内村 正明
舞台	上岡 富子 岳精流日本吟院取手教場(女子)
式典	本間 林風・佐久間 崇之・長谷川 陳鷹・山中 吉男
音響・照明	三好 伸司・松尾 宝泉・久保 篤志・渡辺 充夫
プロジェクター	越智 精麗
ビデオ	椎名 一夫・片岡 由貴
写真	新井 遼風
案内	竹下 仁志・古谷 立美・越智 康博
懇親会	工藤 幸男
	落合 和山
	越智 精麗・中川 敬子

剣武道・詩舞道・居合道・吟詠道

神刀流総本部

宗 家 日比野 正晴

理 事 長 重 信 正 利 副 理 事 長 工 藤 正 桂

副 理 事 長 小 池 剣 風 副 理 事 長 遠 藤 正 仁

事務局：茨城県取手市野々井1060-37 越智 勝流

TEL/FAX 0297-78-2071

〈神刀流ホームページアドレス〉

<http://www.shintoryu.jp/>

神刀流

検索



神刀流剣武道・居合道

神 生 館

総本部理事長
館 長

重信 正利

副館長
事務局長

大竹 正喜

事務局会計

中山 愛正

幹 事

楨 護正

本部 〒326-0141 栃木県足利市小俣町342-5

TEL 0284-62-0446

神刀流剣武道・居合道・詩舞道

神刀流 神刀館

茨城本部

神刀流総本部 事務局長

越智 勝流

中川 敬子 上岡 富子

堀内 周子 佐久間崇之

長谷川陳鷹 山中 吉男

〒302-0032 茨城県取手市野々井1060-37

TEL・FAX 0297-78-2071

URL <http://www.occyan.com/>

神刀流

居合抜刀術 居合道

神刀流 神山館

神刀流総本部 副理事長

館長 **遠 藤 正 仁**

佐藤正淳 松永正真 坂本栄一

軽部慎也 新関功樹 黒田了光

新関勇樹 中村萌夏 黒田勇斗

〒990-2444 山形県南四番町6-27

TEL・FAX 023-634-2260

携帯 090-1932-6268

神刀流剣武道・居合道

神刀流神刀館 青森本部

神刀流総本部 副理事長

小 池 剣 風

吟・剣武道 剣風会 会長

日本クラウン吟友会 会員

全日本剣道連盟居合道 教士七段

NPO法人日本抜刀道連盟 青森支部長

〒033-0051 青森県三沢市古間木2-183-13

TEL/FAX 0176-52-2554

剣武道・詩舞道・居合道・吟詠道

神刀流 北海道本部

〒080-0021 北海道帯広市西11条南18丁目2番地 電話(0155)25-3556

相談役	木俣 舞政	本部長	工藤 正桂	副本部長	前 正峯
相談役	山野 正鋒	副本部長	森谷 正皖	副本部長	瀧澤 正邦
相談役	国田 正香	副本部長	今野 正歩	副本部長	山本 正倮
相談役	吉田 正松				

帯 広 支 部	清 水 支 部	鹿 追 支 部	本 別 支 部
愛 別 支 部	駒 場 支 部	音更共栄支部	西中音更支部
忠 類 支 部	札幌第一支部	札幌第二支部	札幌第三支部
旭 川 支 部	札幌旭水支部	札幌西岡支部	札幌清田支部

神刀流剣武道・居合道・詩舞道

神刀流神刀館総本部

総館長

渡辺

正春 (福岡)

館長

小池

剣風 (青森)

館長

横井

剣司 (名古屋)

館長

越智

勝流 (茨城)

館長

石橋

剣康 (埼玉)

館長

野村

洋流 (多摩)

館長

森

剣信 (神奈川)

居合道師範

小坂部

茂 (埼玉)

神刀流剣武道・居合道

神刀流神刀館本部道場

神刀流総本部 顧問
館 長

森 剣信

〒252-0237

神奈川県相模原市中央区千代田6-4-8

TEL/FAX 042-758-3729

祝 全国大会

森会計事務所

税理士 森 正雄

税理士 森 敏孝

〒252-0237

神奈川県相模原市中央区千代田3-1-17

TEL 042-758-1933

FAX 042-758-3754

神刀流剣武道・居合道

神刀流神刀館 埼玉本部

神刀流総本部
顧問

石橋 剣康

〒340-0811 埼玉県八潮市上2丁目280-3

TEL・FAX 048-997-4146

手技治療総合施術整体

イシバシ治療院

石橋 康夫

電話(FAX)048-997-4146

〒340-0811 埼玉県八潮市上2丁目280-3

神刀流神刀館 埼玉本部 <剣康>

神刀流剣武道・詩舞道・居合道

神刀流神刀館 名古屋本部

神刀流総本部 顧問

横 井 剣 司

〒454-0003 名古屋市中川区松重町3-44

TEL・FAX 052-331-3331

神刀流剣武術・居合道

神刀流 神竜館

神刀流総本部専務理事
館長

佐藤 剣生

〒299-4113 千葉県茂原市法目2824-7

TEL 0475-34-5472

携帯 090-2306-2262

神刀流剣詩舞道

神刀流 神秀館

神刀流総本部
専務理事長 浜島 秀鶯

理事長 田辺 秀城

高野 秀道

〒167-0032 東京都杉並区天沼3-39-12

TEL 03-3392-7295

神刀流剣武道・吟詠道

神刀流 神尚館

館 長

望 月 勇

〒418-0112 静岡県富士宮市北山1163

TEL/FAX 0544-58-1008

神刀流居合術

塾 長 岩谷 正信

菊地 悟

〒358-0014 埼玉県入間市宮寺2763-6

TEL 04-2934-6601

FAX 04-2934-3055

神刀流剣武道・居合道

神刀流神刀館
泰野正舟会

会 長

佐 藤 正 流

〒245-0061 神奈川県横浜市戸塚区汲沢4-17-6

TEL 045-881-6851

神刀流詩舞道・剣武道

神刀流 神紫館

館 長

久 保 正 紫

〒418-0041 静岡県富士宮市淀川町27-11

TEL/FAX 0544-27-2404

祝

全国神刀流茨城大会

神刀流神風館

館長 土屋正廣

〒418-0037

TEL 0544-27-6060

静岡県富士宮市安居山 706-24 FAX 0544-25-3700

HP

神刀流神風館

検索





全国神刀流茨城大会

橘 蘭 一

〒814-0022 福岡市早良区原5-10-18

TEL/FAX 092-843-0051



全国神刀流茨城大会

神刀流居合・剣武道

神 武 嵩 山 館

館 長 小 林 嵩 光

嵩山館道場 〒277-0825 千葉県柏市布施647-2

TEL/FAX 04-7131-8619

神武会総本部 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-4

今日を愛する。
LION

今日を磨けば、
明日が輝く。

なんでもない今日を生きていく
わたしらしく明日を生きていく

はみがきしよう

お風呂にはいろ

♪ 今日もしちにちはたらいた
いいわけしないで がんばった
おうちにかえって